施策評価表

1. 基本事項

作成日 令和5年6月23日(金)

	施策		地域の	特色を生かした魅力ある景観形成	期間	令和5年~令和9年 施策担当部課名 都市整備部 都市計画課
総	大項	目	5	快適で利便性の高いまち		地域の重要な資源である緑の豊かさを市民が実感し、 日常的に触れ合える機会の拡大を目指し、自然や歴史・
合	中項	目	1	都市整備の行き届いたまちづくり	目的・	文化等を生かした特色ある公園や、市民に身近な公園の
計画	小項	目	3	地域の特色を生かした魅力ある景観形成	対象	整備を進めるとともに、自然の森の保全・活用を図る。
画	主要プロシ	ジェクト				
	本及	結果、 感じてし	身近な緑 いること	提をするためアンケート調査を行った が減少あるいは緑の質が落ちているとなどより、施策重要度は平均よりややほぼ平均値となっている。	施策推進の	1. 鐘撞堂山の森林等の公共的な緑地の維持管理 2. 公園の整備、維持管理 3. 景観事務
	を取り巻 会状況等	など多く	くの緑に	敷林が点在し、防風林や自然林の存在 恵まれている。 は、一部の施設で老朽化が進んでい	ための主な 取組	

2. 評価指標

上段は目標値(令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期 基本計画に基づく目標値)、下段は実績値

_			T-1-11 11-T		、「投る大順	'		
区	指標名(上段)	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
分	算出式・説明(下段)	丰位						
	身近に自然に親しめる環境があると思う市民の割合	%	72. 30	80. 70	80. 70	80. 70	80. 70	80. 70
	深谷市民まちづくりアンケート	70	80. 00					
	市内に魅力的なまち並み・景観があると思う市民の割合	%	46. 10	52. 30	52. 40	52. 50	52. 60	52. 70
	深谷市民まちづくりアンケート	90	52. 70					
成								
果								
果指標								
作								

3. 一次評価 (今後の施策の方向性)

区分	現状維持	l 1	現状維持	2	拡充	.3	縮小
	シレルハルエ ハ		シル ルベルエ 1寸	~ .	1111111111	Ο.	MIH * J *

「身近に自然に親しめる環境があると思う市民の割合」は目標値を達成している。鐘撞堂山や公園施設の維持管理について、限られた予算で 事業展開が図られた結果である。今後も予算の安定的な確保に努め、施設等の適正な維持管理・更新を進める。

「市内に魅力的なまち並み・景観があると思う市民の割合」は着実に増加している。レンガを活かしたまちづくりについては、中央土地区画 整理事業の整備に併せ、積極的に市民にPRし、魅力あるまち並み形成に向けて取り組む必要がある。

評価者 都市計画課長 山中 勉

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
既存事業の拡充	・豊かな自然を保全するため、鐘撞堂山の森林などの維持管理が必要である。
事業の新規立案	・公園については、利用者の安全を第一に、利用率を考慮するなど、費用対効果を踏まえた適切な維持管理 を行っていく。
事業の廃止・縮小	・「渋沢栄一翁の顕彰とレンガを活かしたまちづくり」については魅力あるまちなみを形成するため、レン
事務事業の再編	ガのまちづくり事業による対象建築物への補助と中央土地区画整理事業による景観に配慮したインフラ整備
その他	を継続していく。

5. 二次評価 (所属長の見解)

鐘撞堂山の森林や公園については、今後も利用者の安全を第一に、利用率や費用対効果を考慮した適切な維持管理に努め、良好な景観の保 全を図っていく。

「渋沢栄一翁の顕彰とレンガを活かしたまちづくり」については、渋沢栄一翁とレンガの関係性について理解を深める活動を継続するとともに、レンガのまちづくり補助金活用のPRや、区画整理事業による景観に配慮した整備を継続していくことにより、歴史的背景を活かした魅力的な景観形成を推進していく。

所属長 都市整	備部長 吉田 移